

ハイストロング工法は、コンクリートを1回で打設

『一体型基礎』だから強い!



従来のベタ基礎

打ち継ぎの隙間ができる



多くの住宅基礎ではコンクリートは2回に分けて打つため「耐圧版」と「立ち上がり」の間に「打ち継ぎ」といわれる継ぎ目ができます。

ハイストロング工法

強度のある一体打ちが可能



型枠として使用できるEPS断熱材により「耐圧版」と「立ち上がり」の同時打設（一体打ち）ができるため、継ぎ目のない強度のある施工が可能になります。

打ち継ぎがないから強い!
立ち上がり一体打ち



床下の『エアコン1台』で、いつも足元が暖かい!

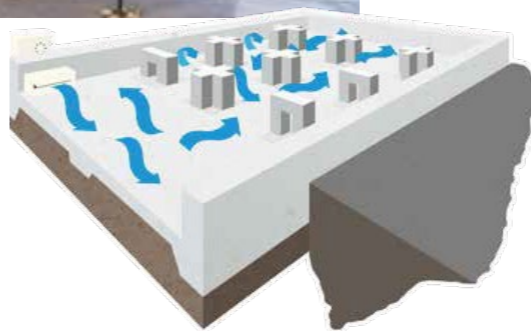
ダブル断熱で床下すっきり、暖かい風が足元からしっかり行き渡ります。

◀ダブル断熱で、床下にさえぎる壁がないので、『エアコン1台』で、足元からポカポカ!



たとえば…

- 30坪の平屋建の場合…
12畳用の床下エアコン1台
- 35坪の2階建の場合…
8畳用の床下エアコン1台



基礎断熱が熱橋を防ぐ! 外部からも床下をしっかりと断熱

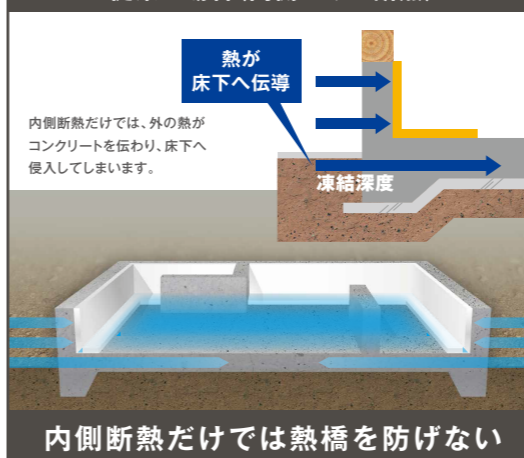
従来の基礎断熱手法の課題(熱橋)をHySTRONG工法は解決します。

熱橋

ヒートブリッジともいい、外壁と内壁の間にある柱や、梁、床下のコンクリートなどが熱を伝える現象のことで、断熱性能の低下につながります。

快適な床下環境を実現

従来の場合(内側のみの断熱)



ハイストロング工法の場合

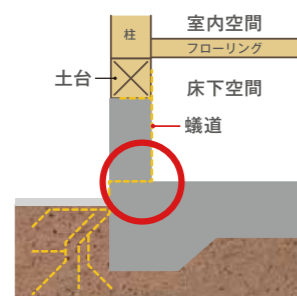


白アリ 浸水 のリスク低下!

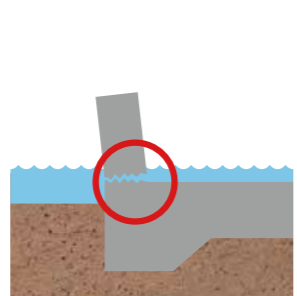
一般のベタ基礎では、ほとんどの場合「打ち継ぎ」の隙間ができてしまいます。「ハイストロング工法」なら打ち継ぎが存在しないため、シロアリや浸水のリスクを引き下げます。

打ち継ぎから引き起こるリスク

【シロアリの侵入】



【浸水】



【防蟻性能試験】

アルミ笠木の防蟻性能試験でシロアリの食害なしを実証

試験機関：近畿大学 農学部 応用生命化学科 森林生物化学研究室



暖かく、収納できて、安心してクリーンな床下環境を実現します。



since 1946 木づかいの家 薄井工務店
栃木県宇都宮市下砥上町 1190-3 ☎ 0120-913-340

薄井工務店

<http://u-41.co.jp>



一体型だから強く、ダブル断熱で床下がいつも快適な基礎
ハイストロング基礎工法

優れた床下通気性

基礎内部の通気性が向上することで床下湿気によるカビ等を防ぎ、また、換気設備等の配管設置も容易に。中長期的にメンテナンスしやすい住まいづくりが出来ます。



通気性がないとカビの温床に



優れた床下通気性

なかなか手を入れられない床下だからこそ、**通気性**の向上！

従来のベタ基礎
立ち上がりがある

床下内部の立ち上がりの壁が通気性を妨げる。また、床下メンテナンスも大変。

ハイストロング工法
遮る壁がなく通気が良い

床下内部の立ち上がりがないので、遮るものがなく、通気が格段によくなる。配管のメンテナンスも容易。

耐圧版式グリッドポスト基礎
構造評定取得
札幌市のJ建築システム株式会社による「耐圧版式グリッドポスト基礎」(特許登録済、旧38条建設大臣認定、構造評定取得)

驚きの床下収納力！

大切な思い出はいつも足元にある

使わなくなったけど、いつまでも大切にしまっておきたい物ってありますよね…そんな収納にぴったり！

- たとえば…
- 30坪の平屋建の場合…
+9帖分の収納力！
 - 35坪の2階建の場合…
+6帖分の収納力！



床下へ収納！

POINT 一体型コンクリートでダブル断熱だから、床下は、虫やホコリの侵入リスクが極端に少ない！しかも、シロアリの薬剤を一切使用しないので、クリーンな環境です！

メンテナンス性の良さ

内部立ち上がりがないから **通気性が向上 & メンテナンスが容易**



どちらがより良い住まいになる基礎でしょう



床下メンテナンスを難しくする換気・配管

「換気」システムは高气密高断熱住宅では必須の設備ですが、正しい設置がなされないと床下メンテナンスが出来ない住宅になる恐れがあります。その他床下には各種配管もあります。



床下がすっきりしているとメンテナンス性が大きく変わります

床下は建物の『心臓部』。必ず点検が必要です。

シロアリ初期保証 20年

しかも薬剤を使わずに長期保証点検後、さらに保証が延長できます。